

vol.

103

2021

3/26 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



## CONTENTS

令和2年度各種会費及び募金納入実績報告	2～3	社協からのお知らせ	7
奥中山保育所・奥中山学童クラブってどんなところ？	4～5	相談日程表 etc	8
できごとフラッシュ	6～7		

題号 "ゆいっこ" は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。



## 日本赤十字社 活動資金増強運動

皆様から頂きました活動資金は、日本赤十字社活動の資源として各種事業（国内災害救援活動・国際活動・社会福祉活動の推進等）の支援に役立てられます。（一戸町社会福祉協議会は、日本赤十字社岩手支部一戸町分区の事務を行っています。）

総額 2,493,700 円

内訳	一般活動資金	2,428,500 円
	特別活動資金	7,000 円
	法人活動資金	55,600 円
	寄付金	2,600 円



令和2年度一戸町血液事業の様子



## 赤い羽根共同募金運動

赤い羽根共同募金運動で集められた募金は、「自分の町を良くするしくみ」として高齢者や子ども達を支援するいきいきサロン助成事業、チャイルドシート貸出事業、ボランティア活動保険助成事業など支えあいの地域づくりに活用させていただきます。

総額 3,263,318 円

内訳	戸別募金	2,556,510 円
	法人募金	417,000 円
	学校募金	110,743 円
	職域募金	63,900 円
	その他募金等	115,165 円



ふれあい・いきいきサロン事業の様子



みなさまからのあたたかいご協力

ありがとうございました

# 納入実績報告

令和2年度各種会費及び募金

総額 3,119,320 円

募金配分 内訳	生活困窮世帯	421,000 円
	在宅高齢者世帯	2,024,000 円
	ひとり親世帯	100,000 円
	障がい児・者世帯	30,000 円
	福祉団体等配分	60,000 円
	配分事務費	130,000 円
	地域福祉活動事務費	354,320 円

歳末たすけあい募金運動で集められた募金は、支援を必要とする方々が安心して新しい年を迎えられるよう、歳末義援金として対象世帯へお届けしました。また令和3年度福祉活動資金として活用させていただきます。



## 歳末たすけあい募金運動

総額 3,679,200 円

内訳	世帯会費	3,108,200 円
	特別会費(世帯)	168,000 円
	特別会費(法人)	48,000 円
	団体会費	285,000 円
	賛助会費	70,000 円



小中高校生の福祉教育へも役立てられます。



社会福祉協議会会費は、一戸町の福祉のまちづくりのため、社会福祉協議会で行っている事業（外出支援サービス・宅配食事サービス・長寿祝い品贈呈等）の財源として活用させていただきます。



## 一戸町社会福祉協議会会費

ありがとうございます

いつも皆様のあたたかいお気持ちとご協力のおかげで、あたたかい気持ちになりました。あたたかい気持ちで過ごさせてください。いよいよ感謝しております。本当にありがとうございます。

皆様からのあたたかいお気持ちには感謝致します。ありがとうございます。

歳末義援金を受け取った方から町民の皆様へのメッセージ

一戸町社会福祉協議会では、今年度より町内8つの保育施設等の運営を町より受託することとなりました。前号に引き続き、2つの保育施設をご紹介します。

# 奥中山学童クラブ

ってどんなところ？



# 奥中山保育所

ってどんなところ？

## 協調性をもつ



仲間と力を合わせて栗拾い

## 規律を守る



みんなでおやつのはきまりを守って

## 自ら学習



想像力を働かせて

## 《季節のイベント》



4月にはミズバショウを見に行っちゃったよ！



みんなでさつまいもを育てました。



ハロウィーンのジャックオランタン作り

1年を通じて全8つの保育施設を紹介してきました。いちのへ社協だよりゆいっこでは、今後も子どもたちの日々の様子、出来事を紹介していきます。地域に根差した保育施設でありますように、これからもよろしくお祈りいたします。

## 施設データ

(令和3年3月1日現在)

- 施設名 奥中山学童クラブ
- 所在地 一戸町奥中山字高屋敷1447-3
- 施設長 坂ノ上 智佳子
- 職員数 3名
- 児童数 38名



奥中山学童クラブ指導員の皆さん

子ども達が安心して生活できる場所と毎日が過ごしやすい環境を整え、健やかな学童生活を過ごしていけるようサポートをしていきたいと思えます。(文：中村指導員)

奥中山学童クラブは広大な土地と自然豊かな場所にあり、四季を通じて地域と関わりながら体験活動や行事を行っています。現在は1年生から6年生まで計38名が在籍しており、学童の畑では野菜を育て自分達で収穫し、おやつ作りや工作などで楽しみながら過ごします。

また奥中山学童クラブと隣接の「カナン園シャローム」と年間を通して(今年はコロナで自粛となりましたが)「さくら市」クリスマス会「餅つき会」「交流会」などシャロームの利用者さんと一緒に、福祉との関わりも大事にしています。

ゆいっぴー

## 自然にたしむ



季節ならではの遊びを満喫中



## 想像力をもって



シャボン玉ってきれいだな〜

## おもいよりの気持ち



思いやりの心でお友達と仲良く！



## できることは自ら



ルールを守りみんなで運動!!

## 施設データ

(令和3年3月1日現在)

- 施設名 一戸町立奥中山保育所
- 所在地 一戸町奥中山字西田子75-3
- 施設長 坂ノ上 智佳子
- 職員数 13名
- 児童数 45名

西岳を望む開放的なロケーションが、保育所の園庭です。その為保育所の周りは全て、格好な散歩コースになっています。春は水芭蕉、夏は虫探し、秋は木の実ひろい、冬は何といても雪遊びと高地ならではの自然を楽しんでいます。

また、多様な施設が混在しているのも奥中山地区の特徴です。夏祭りや七夕会、芋ほりや文化祭等、様々な施設との交流も子供たちの貴重な経験になっています。そして祖父母交流会が年4回あり、畑活動を通しておじいちゃん、おばあちゃんから、いろいろなことを教えていただき、野菜の成長・収穫を楽しんでいます。

自然や人との多様な体験を積み重ねて、心も体も健やかに成長してほしいと思えます。(文：坂ノ上所長)



奥中山保育所職員の皆さん

## 幼稚園と保育所の連携と子ども同士のふれあい 焼きいも交流会

一戸幼稚園（大道正樹園長）と鳥海保育所（下村孝子所長）では、11月5日（木）、一戸幼稚園園庭で「焼きいも会」を行いました。  
黄色いに焼き上がった熱々のさつま芋を、どの子どもも美味しそうに頬張っていました。  
令和3年4月から統合し、認定こども園として新しく生まれ変わる両園。園を越えた子ども同士の交流を深め、間もなく訪れる共に生活する時間を楽しみにしていました。



一緒に焼きいもを頬張る一戸幼稚園と鳥海保育所の園児たち

## 住民同士の助け合いをこれからも… 中学生雪かきボランティア活躍

奥中山中学校（後藤康校長）1、2年生の生徒12名で活動する雪かきボランティア「スノーバスターズ」は、1月7日（木）と8日（金）の2日間、地域の高齢者宅計8世帯を訪れ除雪活動を行いました。  
この日の奥中山地区の積雪は60cmを超えており、ボランティアを受け入れた堀籠光子さんは、「若い力に助けられた、ありがたい」とボランティア活動だけでなく生徒とのふれあいを喜んでいました。



ボランティアを受け入れた堀籠さん（左から3人目）とスノーバスターズの皆さん

## 地域課題に関心をもち解決に取り組み 一戸高校認知症への理解を深める

一戸高校（上野光久校長）では、11月5日（木）VR認知症プロジェクトを開催しました。福祉系列の2、3年生や県内の教諭、福祉関係者50名程が参加し、認知症の症状を体験、認知症のある方への接し方などについて考えました。  
また2月4日（木）には1年次生97名を対象に認知症講座を開催し、寸劇やグループワークを通して、「認知症のある人やその家族のために私たちにできること」について意見を出し合いました。  
生徒を代表して釜石瑠那さんは、「講座を活かして、一戸高校の私たちにできないサポーターとしての活動を学校や地域で実践していきたい」と話してくれました。



1 VR認知症プロジェクトの様子  
2 認知症講座グループワークの様子  
3 認知症のある方への接し方の例を生徒と先生が実践

## 認知症にやさしいまちづくりを目指して まるっとカフェ開催（鳥越地区、奥中山地区）

認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して、一戸町地域包括支援センターと当協議会で開催するまるっとカフェは、毎月1回町内5地区の商業店舗等を巡回中です。

11月24日（火）は結カフェ（山館章子代表／中山大塚116-2）で開催し、地域住民や従業員など15名程が認知症や介護の相談や移動図書館を楽しみました。

12月18日（金）は瀧龍寺（砂越裕悦住職／鳥越中野平47）で開催し、住職によるミニ講話「椅子座禅のすすめ」を行い、地域住民25名程が参加しました。  
認知症のある人にやさしい人や店舗等が町中に増えるように、これからも巡回開催をしていきたいと思います。



1 結カフェで行った認知症や介護の相談、脳トレ体験の様子。  
2 瀧龍寺で行った住職ミニ講話「椅子座禅のすすめ」の様子。

## 社協からののお知らせ

### 令和3年度日本赤十字社活動資金増強運動のお知らせ

令和3年5月1日より全国一斉に日本赤十字社活動資金増強運動が開始となります。皆様から頂いた資金は、日本赤十字社で行っている献血活動や災害時の支援活動などに活用されます。

4月下旬から5月にかけて行政連絡員または班長が各世帯を訪問いたしますのでご協力の程よろしくお願いたします。

問い合わせ先：日本赤十字社一戸町分區  
（一戸町社会福祉協議会内 ☎ 33-3385）

### 令和3年度各種地域福祉活動助成金・補助金申請受付について

▶当協議会では、「ふれあい・いきいきサロン助成金」交付申請を受け付けています。

対象：町内で定期的に福祉活動を行う団体

申請方法：問合せ先に電話又は来庁後書類申請

※令和2年度実施団体には書類を郵送配布

助成金額：1回1人あたり100円

※例：会員10名の団体が月1回（年間12回）活動した場合  
年間助成額は、10名×12回×100円＝12,000円となります。（上限なし）

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

▶一戸町では、「地域保健福祉活動支援事業補助金」交付申請を受け付けています。

対象：町内で高齢者の介護予防、閉じこもり防止活動を行う団体

申請方法：問合せ先に電話又は来庁後書類申請

助成金額：補助対象経費の10分の8以内で上限30,000円

問い合わせ先：一戸町地域包括支援センター ☎ 32-3700

### 令和3年度各種社協の保険の加入受付を行っています

一戸町社会福祉協議会では、ボランティア活動やサロン活動を行う個人・団体を対象とした令和3年度各種保険の受付を開始しました。

保険の種類：ボランティア活動保険／ボランティア行事用保険  
／ふれあいサロン傷害保険・福祉サービス総合補償／送迎サービス補償

保険金額：保険の種類によって異なります。お問い合わせください。

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会 ☎ 32-3700

### 新型コロナウイルス感染症こころのケア相談

岩手県精神保健福祉センターでは、新型コロナウイルス感染症により、強い不安やストレスを抱えている方のこころの相談をお受けしています。不安な気持ちやストレスをひとりで抱えず、相談員（保健師）に話してみませんか。

日時：毎週月・水・金曜日

1 9時～12時 2 13時～16時

相談方法：電話相談（新型コロナウイルス感染症こころのケア相談専用電話 ☎ 019-653-7227）

相談料：通話料のみご負担

問い合わせ先：岩手県保健福祉部障がい保健福祉課  
こころの支援担当  
☎ 019-629-5450



# 各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	4月13日(火) 4月27日(火)	4月20日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)
	5月11日(火) 5月25日(火)	5月18日(火)		
	6月 8日(火) 6月22日(月)	6月15日(火)		
	7月13日(火) 7月27日(火)	7月20日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800※要予約		二戸市総合福祉センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 33-3385

## 寄付御礼

(令和2年11月～令和3年2月取扱分)

### 令和2年7月豪雨災害義援金

#### ◆ いちのへ文化・芸術 NPO 様

金 17,226円 也

令和2年12月5日に開催された「クリスマスコンサート楽しい弦楽器の世界」の入場料よりご寄付頂きました。ありがとうございました。

#### ◆ 株式会社東流社

代表取締役社長 芳賀愉一郎様

マスク 25箱

ウェットティッシュ 144個

頂きました物品は、保育施設や相談業務等で活用させていただきます。ありがとうございました。



## 災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

#### ・ 東日本大震災義援金

(受付期間：令和3年3月31日まで)

#### ・ 平成28年度熊本地震災害義援金

(受付期間：令和3年3月31日まで)

約10年間、多くの皆さまのご協力により東日本大震災義援金募集を行って参りましたが、この度3月31日をもって受付を終了することとなりました。合わせて熊本地震災害義援金の受付も同日をもって終了となります。

町民の皆様のご協力ありがとうございました。

#### ・ 令和2年7月豪雨災害義援金

(受付期間：令和4年3月31日まで)

#### ・ 令和3年2月福島県沖地震災害義援金

(受付期間：令和3年5月31日まで)

その他、各種国内外義援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会(☎:33-3385)までお問い合わせください。

## 編集後記

東日本大震災から早10年…あの頃就職活動中だった私は今、多くの学生が震災の影響でなかなか就職先が決まらず将来への不安を抱えていた当時の状況と、コロナ禍での就職難という現在の状況とが重なり震災の日のことを思い出しました。皆さんは10年前をどのように思い出しましたか？

間もなく新年度。本会は令和3年度も、認定こども園の運営を始めとする新たな事業に着手しながら、住民の皆様とともに地域福祉の推進を図っていきます。1日でも早く、町民の皆さんが笑顔で春を迎えられる日がくることを祈って。今年度もありがとうございました。(小野寺)

## 社会福祉法人一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2 (一戸町総合保健福祉センター内)  
TEL 0195-33-3385 / FAX 0195-33-2737  
ホームページ <http://ichinohe-shakyo.jp/>



## 表紙の紹介



雪遊びをする奥中山保育所の園児たち。県内有数の積雪量を誇る奥中山地域ならではの季節の遊びを楽しんでいました。